

## 執筆要項

### 1. 原稿の投稿

- ・原稿は Word で、表は Word か Excel で、図は JPEG 形式(解像度は 300dpi 以上)で作成したものを電子メールの添付として送って下さい。

### 2. 原稿記載の構成と順序

- ・第 1 ページ目は表紙とし、原著論文、短報、症例・実践報告、総説、研究交流会プロシーディングスの別を明記し、表題、著者全員の氏名とその所属、連絡責任者の連絡先(氏名、住所、電話、FAX および E-mail アドレス)、必要があれば、略語、脚注を記載して下さい。
- ・第 2 ページ目には、要旨(400字以内)、キーワード(6 個以内)を記載して下さい。
- ・第 3～4 ページ目には、英語表題、著者全員の氏名(英語)、英文要旨(300単語以内)、キーワード(6 個以内)を記載して下さい。
- ・第 5 ページ目以降は、論文の種類により構成が異なります。以下の順序に従い、記載して下さい。
- ・医療保健学は学際的な領域を含むことから、論文の性格上「原稿記載の構成と順序」第 5 ページ目以降の校正に適合しない分野の論文が投稿されることが考えられる。その場合、上記の「構成と順序」は適用しない。構成と順序の適否の判断は、紀要委員会においておこなう。

**原著論文：**結果から導き出された事象が一般化できるものを原著論文とする。①序論、②方法、対象、または材料と方法、③結果、④考察、⑤結論(必要があれば)、⑥謝辞(必要があれば)、⑦参考文献、⑧図の説明(必要があれば)、⑨図(必要があれば)、⑩表(必要があれば)

(注) 文字数制限はありません。

**短報：**結果から導き出された事象が一般化でき

るが、原著論文とするにはデータ量が少ないものを短報告とする。①序論、②方法、対象、または、材料と方法、③結果と考察(結果と考察は分けてもよい)、④結論(必要があれば)、⑤謝辞(必要があれば)、⑥参考文献、⑦図の説明(必要があれば)、⑧図(必要があれば)、⑨表(必要があれば)

(注) 短報は原則として図または表が 1～2 点、①要旨～⑥参考文献の文字数を 4,000 字以内とする。

**報告：**結果から導き出された事象が特定の地域、特定の教育の場など適用される範囲が限定されているもの、予備研究的な色合いが強いものなどを報告とする。①序論、②方法、対象、または材料と方法(必要があれば)、③症例、実践例、または結果、④考察、⑤結論(必要があれば)、⑥謝辞(必要があれば)、⑦参考文献、⑧図の説明(必要があれば)、⑨図(必要があれば)、⑩表(必要があれば)

(注) 文字数制限はありません。

**総説：**著者の複数の原著論文に基づき、ある一定の研究成果を系統立ててまとめたものを総説とする。①序論、②以下の本文は項目分けをして、各項目について記載していれば、形式は拘らない。③謝辞(必要があれば)、④参考文献、⑤図の説明(必要があれば)、⑥図(必要があれば)、⑦表(必要があれば)

(注) 文字数制限はありません。

**研究交流会プロシーディングス：**医療保健学部で開催される「研究交流会」での発表内容を論文形式で印刷頁 4 ページ以内でまとめたものを研究交流会プロシーディングスとする。①序論、②方法、対象、または、材料と方法、③結果と考察(結果と考察は分けてもよい)、④結論(必要があれば)、⑤謝辞(必要があれば)、⑥参考文献、⑦図の説明(必要があれば)、⑧図(必要があれば)、⑨表(必要があれば)

(注) 研究交流会プロシーディングスは原則として

図または表が1～2点、①要旨～⑥参考文献の文字数を4,000字以内とする。

### 3. 作成上の注意

- ・原稿はA4版の用紙に横書きで32字×25行、フォントサイズ12ptで作成する。尚、数字およびアルファベットは原則として半角とする。
- ・表紙を第1ページとして、最終ページまでに通し番号を記入して下さい。
- ・下記に該当する研究では、『方法、対象、または、材料と方法』の項目に倫理的配慮について記載して下さい。

#### ①対象者の試料・情報を使用した研究

以下の項目について全て文章で記載して下さい。1)ヘルシンキ宣言への準拠, 2)試料・情報の匿名化, 3)試料・情報の保管法, 4)文書によるインフォームドコンセント, 5)文書および口頭による対象への倫理的配慮の説明方法, 6)対象に対してデータ公表の有無およびその方法の説明, 7)利益相反の有無の説明, 8)大学等での倫理委員会で承認を得たこと。

#### ②相手方の同意・協力や社会的コンセンサスを必要とする研究（面接調査, 質問紙調査, 参与観察等）

以下の項目について全て文章で記載して下さい。1)匿名化, 2)データの保管法, 3)文書によるインフォームドコンセント, 4)対象への倫理的配慮の説明方法(口頭、文書、或いはその両方), 5)対象に対してデータ公表の有無およびその方法の説明, 6)利益相反の有無の説明, 7)大学等での倫理委員会で承認を得たこと。

#### ③実験動物を用いた研究

以下の項目について全て文章で記載して下さい。1)使用動物種, 2)使用動物数, 3)安楽死の方法, 4)実験的処置がある場合、苦痛の軽減方法, 5)大学等での倫理委員会で承認を得たこと。

- ・表(説明文を含む)、図、図の説明は別々に添付して下さい。

- ・表と図は、1つずつ別々のシートに分けて作成して下さい。図の左上には図の番号を記して下さい。
- ・本文での文献の参照は『(著者名, 発行年)』で記載する。ただし、著者が2名の場合、日本語論文は『〇〇と〇〇, 発行年』、英語論文は『〇〇 and 〇〇, 発行年』とし、著者が3名以上の場合、日本語論文は『〇〇他, 発行年』、英語論文は『〇〇 et al, 発行年』として下さい。また、複数の文献を参照する場合は、各文献の間を『;』で区切って下さい。
- ・参考文献は下記の様式で、まず邦文論文を著者名のあいうえお順に並べ、その次に英文論文を著者名のアルファベット順に並べて下さい。

雑誌：著者名(発行年) 論文表題. 雑誌名. 巻：最初-最後頁.

《例》縄井清志, 北村純一, 南和文, 田辺勇人 (2008) 印旛沼における福祉用具使用時の安全管理—平成17年における現状—. つくば国際大学研究紀要. 14:151-159.

《例》Sawada K, Fukui Y, Hawkes R (2008) Spatial distribution of corticotropin-releasing factor immune-positive climbing fibers in the mouse cerebellum: analysis by whole mount immunohistochemistry. Brain Res 1222:106-117.

著書：著者名(発行年) 章の表題. 編者. 書名. 第何版. 発行所, 発行地. 最初-最後頁.

《例》杉野一行 (2004) 神経組織. 佐伯由香・黒澤美枝子・細谷安彦・高橋研一編訳. トートラ人体解剖生理学. 第6版. 丸善, 東京. pp.229-245.

《例》Voogd J (1994) Cerebellum, In: Paxinos G (Ed), The Rat Nervous System, 2nd edn, Academic Press, San Diego, CA, pp.309-350.

インターネット・ホームページ：ホームページの名称. URL (閲覧年月日).

《例》文部科学省ホームページ. [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/koutou/031/toushin/0791402/007/007.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/031/toushin/0791402/007/007.htm) (閲覧日：2010年1月28日)